

令和7年度第3回Premium所内研修会報告書		整理番号	
テーマ	水害時の医療継続への課題と対策 ～医療機関向け「タイムライン防災計画」策定と災害時情報共有システムの開発～		
研修会次第			
日時	令和7年11月26日（水） 16:00 ～ 17:30	参加者	30名
場所	一般財団法人 先端建設技術センター 大会議室 WEB併用講演方式(Microsoft Teams)		
講師	清水建設株式会社 建築総本部 設計本部 鳥山 亜紀 様 技術研究所 長谷川 夏来 様		
講演内容			
<p>水害は地震と違い、時事刻々と変化する降雨量の変化や予測、河川の水位などの指標に応じ、防災行動をあらかじめとることができるため、時系列で行動を定めたタイムラインを策定しておくことが有効だ。我々は、全国の災害拠点病院の多くが浸水地域にあることに着目し、水害に耐えながら急増する救急要請に応えなければならない災害拠点病院において、医療・土木・建築の専門家が一体となって科学的根拠に基づいたタイムライン防災計画を策定した。さらに、医療継続を地域で考える活動にも協力を始めている。地域の救急医療の核となる災害拠点病院をはじめ、自治体や消防、保健所、医療機関など産官学29機関が参画する「人吉球磨地域医療連携検討会」を立ち上げ、地域の気象や水位変化の特性などの学習機会をつくるとともに、災害時の情報共有のあり方などについての検討を進め、地域の医療レジリエンス向上を支援している。</p> <p>もうひとつ、病院内情報のデジタル共有基盤「MCP(Medical Continuity Plan)支援システム」の開発も進行中である。病院の災害対策本部の役割は、防災活動や被災によって増える救急患者への医療提供に対し、医師や看護師などの人材に加えて、電気や水などのインフラ、医薬品や医療機器、手術室やベッドの空き状況などに応じて限られたリソースでどのように対応するか迅速に判断することである。これをデジタル化、ダッシュボードに一覧表示し、医療ニーズとリソースのバランスをとりながら災害時における医療提供のパフォーマンスを最大化することを目指している。</p>			
【参考】URL	【医療施設のためのSHIMZ Solution】 <a href="https://www.shimz.co.jp/solutionnext/solutions/mcp/">https://www.shimz.co.jp/solutionnext/solutions/mcp/</a>		

2023.11.26
令和7年度 第3回Premium所内研修会

水害時の医療継続への課題と対策  
～医療機関向け「タイムライン防災計画」策定と災害時情報共有システムの開発～


清水建設  
設計本部 鳥山亜紀  
技術研究所 長谷川夏来

講演テーマ

Index

Chapter 01

・予測可能な水害に対し「タイムライン防災計画」による備えを…

Chapter 02

・科学的根拠に基づく医療施設の水害タイムライン計画策定  
災害拠点病院 人吉医療センターにおける取組み

Chapter 03

・行動開始基準（トリガー）の設定、ハザードの想定

Chapter 04

・地域における災害時の医療継続に向けた取り組み

Chapter 05

・災害時医療継続 支援システム(MCP支援システム) の開発

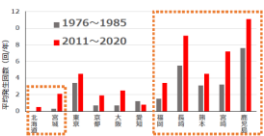
講演内容

環境要因・社会情勢の変化

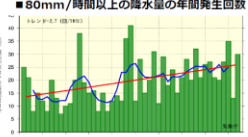
■ 地球温暖化・気候変動による水害の激甚化

- 大雨の年間発生回数は有意に増加しており、より強度の強い雨ほど増加率が大きくなっている
- 1時間降水量80mm以上、1日降水量300mm以上などの強い雨は、1980年頃と比較して、おおむね2倍程度に頻度が増加している

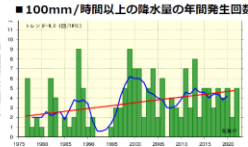
■ 50mm/時間の降雨の年間発生回数



■ 80mm/時間以上の降水量の年間発生回数



■ 100mm/時間以上の降水量の年間発生回数



タイムライン防災計画策定の背景(抜粋)



研修会実施状況